

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 現地作業手順書

安川情報システム株式会社

1. はじめに**1.1. 本書について**

本書は、キッティング済みの **NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** を現地で設置・テストを行う為の「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**現地作業手順書」と、その結果を記入する為の「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**現地作業レポート」から成ります。

本書の内容は、以下の機種に適応されます。

商品名	型式番号
NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0	NAHN810Z

1.2. 作業依頼内容

- チェック済みの「設定記入シート(Excel ファイル)」と、テスト用の「ネットワークチェックツール(VBS ファイル)」を事前にご準備ください。
設定記入シートと「ネットワークチェックツール」は以下のサイトよりダウンロードできます。
http://support.netshaker.com/faq/nrm10/dl/nrm10_parameter_sheet.zip
- 弊社より、**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**をお送りします。設定記入シート内容及び、同梱物の確認をお願いします。
- 「設定記入シート」、「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** 設定マニュアル」等を参考にし、適切にキッティングを行ってください。キッティング済みの **NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**に対し、本書記載の作業を行ってください。
- 現地作業時には、本書に加え、「設定記入シート」、「ネットワークチェックツール」をデータとして保存した通信テスト用 PC を準備してください。本書を参考に現地で作業を行い、その結果を「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**現地作業レポート」へ記入してください。
- 作業終了後、初期設置の場合は、「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**現地作業レポート」のFAXを指定の宛先(宛先については 7.2 をご参照ください)までお送りください。障害交換の場合は、障害機に「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**現地作業レポート」を添えて、指定の宛先までお送りください。
- 各テストにおいて問題が発生した場合、すみやかに「8 お問い合わせ先」にお問い合わせください。

2. 開梱および設置

2.1. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0の接続

本体同梱の「NetSHAKER シリーズハードウェアマニュアル」を参考にして、**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** を（以降 **Red-Mail** とする）を適切に接続してください。また、ネットワーク接続点は「設定記入シート」の構成図を参考にしてください。

<参考>

プライマリインターフェース(LAN1)	HUB 等に接続
セカンダリインターフェース(LAN2)	未使用
専用 UPS	Red-Mail と UPS のシリアルコネクタ(D-Sub 9pin)を、シリアルケーブルで接続。 UPS 付属の電源ケーブルのプラグをコンセント(商用電源)に接続。 Red-Mail 付属の電源ケーブルのプラグをUPS 背面の出力コンセントに接続。

※シリアル接続の際は、必ず UPS 付属のシリアルケーブルを使用してください。

2.2. 電源の投入

電源ケーブルをコンセントに接続し、電源を投入してください。

3. 通信テスト用 PC の接続と設定

3.1. 通信テスト用 PC の接続

Red-Mail の LAN1 と通信テスト用 PC を LAN ケーブルで接続してください。

※ セカンダリインターフェース(LAN2)も使用される場合は、別途、LAN2 と通信テスト用 PC を LAN ケーブルで接続してください。

3.2. 通信テスト用 PC の設定

事前に準備した「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** 現地作業レポート」を参考にして、通信テスト用 PC の IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、DNS、ブラウザの設定をしてください。

また、通信テスト用 PC には「設定記入シート」、「ネットワークチェックツール」がデータとして保存されているものとします。

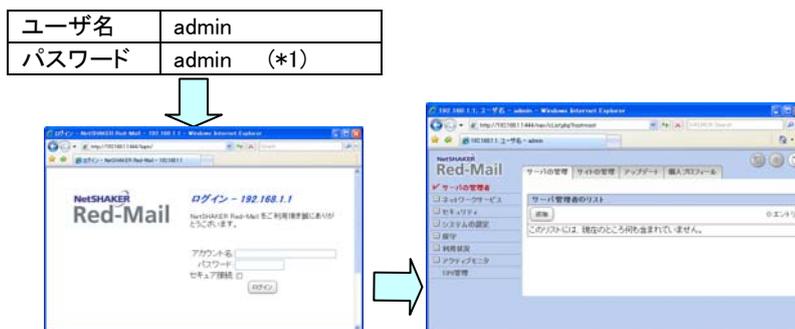
3.3. 管理画面へのアクセス確認

通信テスト用 PC でブラウザを起動し、**Red-Mail** のプライマリインターフェース(LAN1)の IP アドレスとポート番号 444 を記述した URL を指定してください。

例) LAN1 の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合⇒

URL	http://192.168.1.1:444/
-----	-------------------------

Red-Mail との接続が確立すると、基本認証ダイアログが表示されます。以下の「ユーザ名」、「パスワード」を入力してください。認証が完了すると、以下のような画面が表示されます。



4. ネットワークチェックツールによるテスト

4.1. ネットワークチェックツールによるテスト

ネットワークチェックツールを使用して、PING テスト、DNS テスト、メールテストを行ないます。

1. 通信テスト用 PC に保存した「設定記入シート」を開き、「ネットワークチェックツール」シートにある[SMTP サーバを有効にする]が「Y」の場合は[動作検証用外側メールアドレス] にテストメールの受信を現場で確認できる宛先メールアドレス(携帯など)を記入してください。記入が終わりましたら、[チェックツール実行]ボタンを押してください。[SMTP サーバを有効にする]が「N」の場合は何も記入せずにそのまま[チェックツール実行]ボタンを押してください。

	A	B	C	D
1		ネットワークチェックツール		
2				設定値
3		機器構成	アクティブ機(プライマリ)	Y
4			スタンバイ機(セカンダリ)	N
5			IPアドレス(プライマリ/ケース)	172.16.6.16
6			サブネットマスク(プライマリ/ケース)	255.255.255.0
7			ホスト名/ドメインネーム	tkns.tkysknet.co.jp
8		ネットワーク設定	共通IPアドレス	0
9				172.16.6.16
10			DNSサーバ	0
11				0
12				0
13		メール設定	SMTPサーバを有効にする	Y
14			SMTPサーバ動作ポート	25
15			動作検証用外部メールアドレス	hnds@ysknet.co.jp
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				

2. チェックツールを実行すると下記のメッセージが表示されますので[OK]ボタンを押してください。



3. 下記メッセージが表示されましたらテスト結果が出力されます。



4. 「設定記入シート」が保存されている場所に「chk_result.txt」というファイルが作成されていますので「chk_result.txt」を開いて一行目の「check start xxxx/xx/xx xx:xx:xx」から「check end xxxx/xx/xx xx:xx:xx」の間のテスト結果を確認してください。「NG」がありましたら「8 お問い合わせ先」にお問い合わせください。

```

check start 2009/10/07 11:04:15
ping check : OK
DNS check : OK
SMTP check : OK
check end 2009/10/07 11:04:25

```

5. チェックツールでメールテスト(SMTP)を行った場合は、「1.」で指定した[動作検証用外側メールアドレス]宛てにテストメールが届いていることをご確認ください。※現地作業確認者が確認可能な携帯電話のメールアドレスなどを推奨いたします。

5. UPS 動作テスト(オプションのみ)

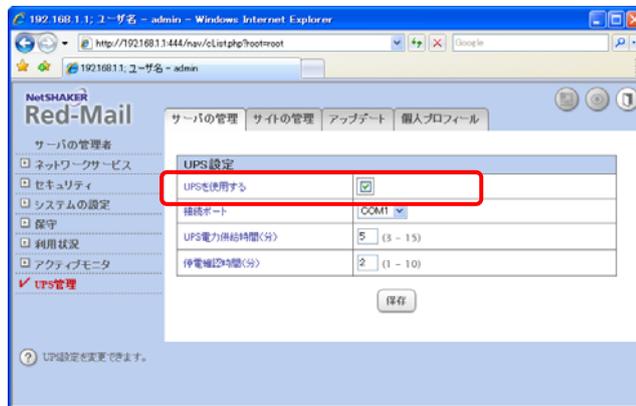
オプションで UPS が”あり”になっている場合にのみ、本テストを実施してください。不明な点がある場合は、BN100XR 同梱の取扱説明書を参照してください。

5.1. UPS 接続確認

- **Red-Mail** と UPS のシリアルコネクタ(D-Sub 9pin)がシリアルケーブルで接続されている事を確認してください。※シリアル接続の際は、必ず UPS 付属のシリアルケーブルを使用してください。
- **Red-Mail** 付属の電源ケーブルのプラグが UPS 背面の出力コンセントに、UPS 付属の電源ケーブルのプラグがコンセント(商用電源)に接続されている事を確認してください。

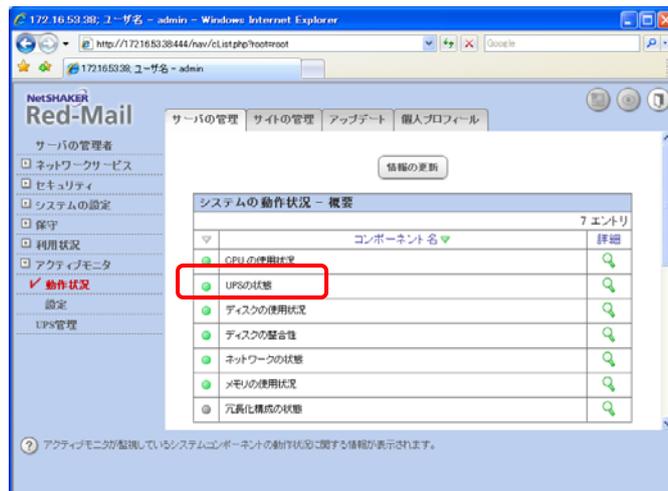
5.2. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 の UPS 設定確認

- **サーバの管理** - **UPS 管理** メニューを選択し、「UPS を使用する」にチェックが入っていることを確認してください。また、「接続ポート」で COM1 が選択されていることを確認してください。(※重要！！)



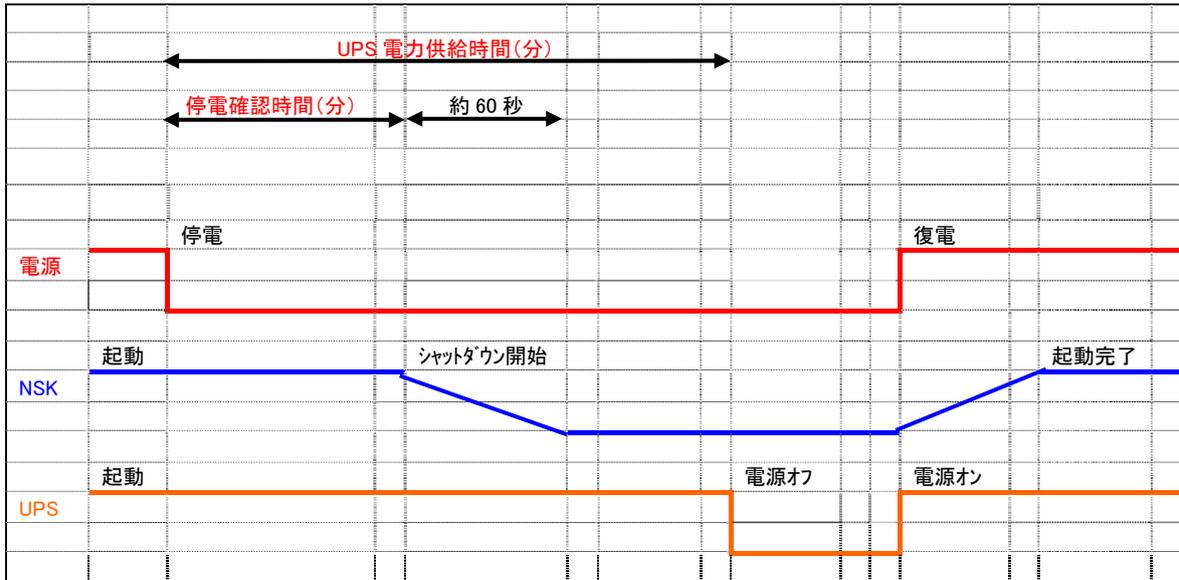
5.3. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 の UPS 稼働状況確認

- **サーバの管理** - **アクティブモニタ** - **動作状況** メニューを選択してください。「UPS の状態」を確認してください。状態表示ボタンの色が「緑」になっていれば問題ありません。



5.4. 自動シャットダウン確認テスト

1. UPS の電源ケーブルをコンセント(商用電源)から抜いて、擬似停電状態を発生させてください。その後、**Red-Mail** が安全にシャットダウンされ、UPS の電源がオフ状態になる事を確認してください。
 2. UPS 電源オフ後、UPS の電源ケーブルをコンセント(商用電源)に接続して、復電状態に戻してください。復電状態に戻った直後、**Red-Mail** が自動起動する事を確認してください。
- ※ **Red-Mail** と UPS の動作の詳細については、以下のタイムチャートをご参照ください。
- ※ UPS 電力供給時間と、停電確認時間は、サーバの管理 - UPS 管理 メニューより設定できます。



6. 基本操作説明（新規設置時のみ説明必要、障害交換時は説明の必要無し）

6.1. 基本操作説明

Red-Mailの設定、運用等は、すべてWebベースの管理画面で行います。以下の管理画面の基本操作をユーザに説明してください。

下図を参考に該当する操作説明をしてください。

説明事項
6.2 管理画面へのアクセス方法(説明必須)
6.3 ユーザの登録
6.4 ユーザの削除
6.5 システム終了と再起動(説明必須)

6.2. 管理画面へのアクセス方法(説明必須)

1. 通信テスト用 PC でブラウザを起動し、Red-Mail のプライマリインターフェース(LAN1)の IP アドレスとポート番号 444 を記述した URL を指定してください。

例) LAN1 の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合⇒

URL	http://192.168.1.1:444/
-----	-------------------------

2. Red-Mail との接続が確立すると、基本認証ダイアログが表示されます。以下の“ユーザ名”、“パスワード”を入力してください。認証が完了すると、以下のような画面が表示されます。

ユーザ名	admin
パスワード	admin (*1)

(*1) 初期状態のパスワードです。変更されている場合は、別紙「設定記入シート」で、お客様の設定をご確認ください。

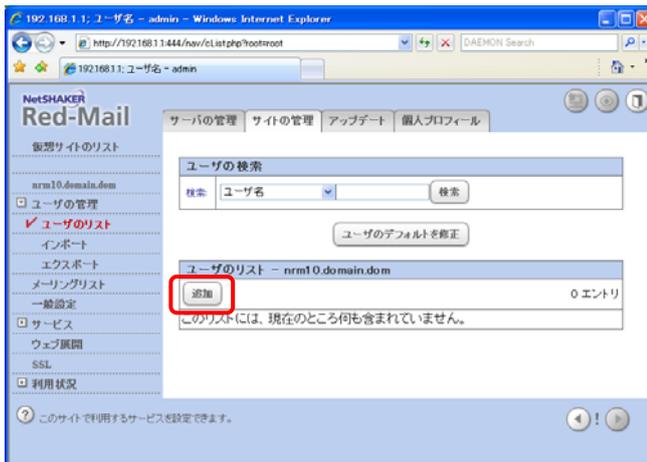
6.3. ユーザの登録

*この項目は、「メールサーバ機能を利用する場合」のみ実施してください。

1. Red-Mail 上に仮想サイト「nrm10.domain.dom」が作成されているものとします。
2. **サイトの管理** で、「nrm10.domain.dom」の **修正** アイコンを押してください。



3. **ユーザの管理** - **ユーザのリスト** - **追加** を選択してください。



4. 必須の3項目“氏名”、“ユーザ名”、“パスワード”を入力し、**保存** ボタンを押してください。
以上でユーザ登録は完了です。



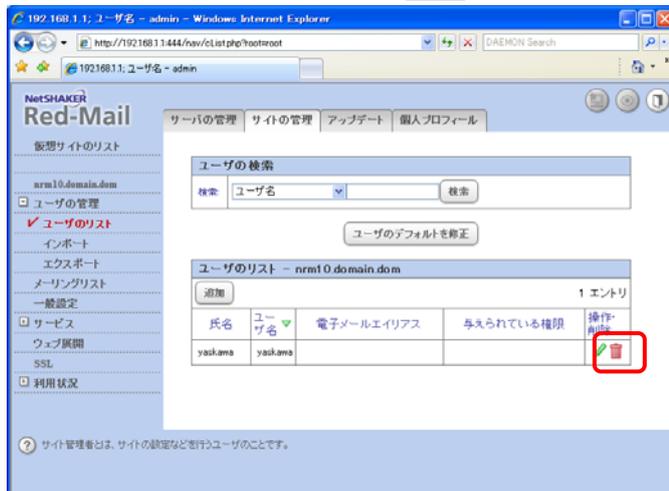
6.4. ユーザの削除

*この項目は、「メールサーバ機能を利用する場合」にのみ実施してください。

1. 「6.3 ユーザの登録」で登録したユーザの削除を行います。
2. **サイトの管理** で、「nrm10.domain.dom」の **修正** アイコンを押してください。



3. **ユーザの管理** - **ユーザのリスト** メニューから、「6.3 ユーザの登録」で登録したユーザの **削除** アイコンをクリックしてください。確認画面で **OK** ボタンをクリックすると、該当ユーザが削除されます。



6.5. システム終了と再起動(説明必須)

1. **サーバの管理** - **システムの設定** - **電源** メニューを選択すると、以下の様な画面が表示されます。
2. お客様に確認し、**再起動** または **シャットダウン** (電源 OFF) のどちらかを選択してください。確認のダイアログが表示されますので、よろしければ **OK** ボタンをクリックしてください。システムが再起動または電源 OFF を行います。



! ご注意

Red-Mail の電源を切る時は、必ず上記手順にて電源を切ってください。

7. 作業終了確認

7.1. レポート記入事項確認

以上の作業が完了したら、「NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 現地作業レポート」に記入漏れがない事をご確認ください。

7.2. 作業終了後

初期設置の場合は、レポートを下記のレポート送付先までお送りください。障害交換の場合は、レポートと障害機を、それぞれ下記の宛先までお送りください。

現地作業レポート送付先 (FAX 又は送付)
〒806-0037 北九州市八幡西区東王子町 5-15 安川情報システム株式会社 NetSHAKERサポート担当者 宛 FAX (093) 622-6177

障害機返送先 (上記レポート同梱にて送付)
〒806-0037 北九州市八幡西区東王子町 5-15 安川情報システム株式会社 NetSHAKERサポート担当者 宛 TEL (093) 622-6174 FAX (093) 622-6177

ご注意

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 現地作業レポートを、必ず、上記のレポート送付先まで FAX にてお送りください。

8. お問い合わせ先

8.1. お問い合わせ先

以上の作業にて不具合がありましたら、御社の NetSHAKER 技術担当者様へお問い合わせください。御社で問題が解決出来ない場合は、御社 NetSHAKER 技術担当者様から安川情報システム NetSHAKER サポート担当者へお問い合わせください。

御社の NetSHAKER 技術担当者様

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 現地作業レポート(※送付必須)

作業情報			
エンドユーザー名			作業日
作業実施会社名			作業者名
初期設置	設置機器 S/N	設置 HDD1 S/N	設置 HDD2 S/N
障害交換	返却機器 S/N	返却 HDD1 S/N	返却 HDD2 S/N
通信テスト用 PC の設定			
ネットワーク	IP アドレス	サブネットマスク	
プロパティの設定	デフォルトゲートウェイ	DNS サーバ	
ブラウザの設定	PROXY サーバアドレス	ポート	
ネットワークチェックツールによるテスト結果(結果欄に○×を記入)			
テスト項目		結果	備考
PING テスト			
DNS テスト			
SMTP テスト			
テストメールの受信テスト			
UPS 動作テスト(結果欄に○×を記入)			
操作項目		結果	備考
UPS 動作テスト(自動シャットダウン/自動起動)			
基本操作説明(結果欄に○×を記入)			
管理画面へのアクセス方法(説明必須)			
ユーザの登録			
ユーザの削除			
終了再起動(説明必須)			

作業確認	
お客様名(組織名)	承認印(サイン可)
ご担当者様名	

その他問題点等

このレポートの送付先は、FAX 093-622-6177 です。

返却機器がある場合は、FAX 送付後、本レポートを返却機器に同封して障害機返却先へ送付してください。